

海技資格の承認制度

1. 海技資格の承認制度とは何か

- (1) 航海士又は機関士の資格(海技資格)は、船員の資格等に関する国際条約(S T C W条約)に基づき船舶の旗国が発給することが原則。
- (2) 一方、条約では、各国は外国(締約国)の海事当局が発給した海技資格を承認できると規定しており、これにより、自国籍船に外国人船員を乗船させることが可能。
- (3) そのため、承認を行う事前に、承認を行うための手続き等を記載した約束をS T C W条約締約国との間で交わしておく必要がある。

2. 日本における海技資格の承認の必要性

- (1) 我が国における承認には2つのパターンがある。
 - ① 我が国が外国(締約国)の海技資格を承認するためのもの(下図①)
 - ・外航日本船舶の増加に伴い必要な外国人船員を日本籍船に乗船させることができる
 - ② 外国(締約国)が日本の海技資格を承認するためのもの(下図②)
 - ・外国籍の日本商船隊の船舶に、日本人船員を乗船させることができる
- (2) 現在、合計 29 か国[日本が外国資格を承認：17 か国、外国(締約国)が日本資格を承認：15 か国(うち相互承認は 3 か国)]と承認約束を交わしている。

図①

↓日本と外国(締約国)との間で締約国の海技資格を承認する約束が必要



図②

↓外国(締約国)と日本との間で日本の海技資格を承認する約束が必要

